

常磐大学大学院 看護学研究科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「実践現場での教育と指導」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）看護の教育的機能と看護の本質の理解し、説明できる。	文書による説明能力	教育的機能と看護の本質に自分の考えを加え、リフレクションシートにおいて論理的に説明できる。	教育的機能と看護の本質を、リフレクションシートにおいて論理的に説明できる。	教育的機能と看護の本質を、リフレクションシートに説明できる。	教育的機能と看護の本質を、あいまいさはあるが、リフレクションシートにおいて説明できる。	教育的機能と看護の本質を、理解できない。
	口頭による説明能力	教育的機能と看護の本質を、自分の考えに反論する他者に対しても口頭で説明できる。	教育的機能と看護の本質を、口頭により論理的に説明できる。	教育的機能と看護の本質を、口頭により説明できる。	教育的機能と看護の本質を、あいまいさはあるが、口頭により説明できる。	教育的機能と看護の本質を、口頭で説明できない。
（2）看護教育における現状について知り、その課題について自分の考えを述べることができる。	文書による説明能力	看護教育における現状と課題を、自分の考えを加え、リフレクションシートにおいて論理的に説明できる。	看護教育における現状と課題を、リフレクションシートにおいて論理的に説明できる。	看護教育における現状と課題を、リフレクションシートに説明できる。	看護教育における現状と課題を、あいまいさはあるが、リフレクションシートにおいて説明できる。	看護教育における現状と課題について、自分の考えを述べるできない。
	口頭による説明能力	看護教育における現状と課題を、自分の考えに反論する他者に対しても口頭で説明できる。	看護教育における現状と課題を、口頭により論理的に説明できる。	看護教育における現状と課題を、口頭により説明できる。	看護教育における現状と課題を、あいまいさはあるが、口頭により説明できる。	看護教育における現状と課題を、口頭で説明できない。
（3）教育と学習に関する主要概念と理論および教育方法、評価の仕方を学習し、様々な対象や実践場面での活用を考察できる。	理解力	教育と学習に関する主要概念と理論および教育方法、評価の仕方を、自分の意見を加えて論理的に説明できる。	教育と学習に関する主要概念と理論および教育方法、評価の仕方を論理的に説明できる。	教育と学習に関する主要概念と理論および教育方法、評価の仕方を説明できる。	教育と学習に関する主要概念と理論および教育方法、評価の仕方を、あいまいさはあるが説明できる。	教育と学習に関する主要概念と理論および教育方法、評価の仕方を理解できない。
	考察力	授業内容を理解し、複雑かつ多様な対象や実践場面での活用を考察できる。	授業内容を理解し、3つ以上で、かつ多様な対象や実践場面での活用を考察できる。	授業内容を理解し、3つ以上の異なる対象や実践場面での活用を考察できる。	授業内容を理解し、2つの異なる対象や実践場面での活用を考察できる。	様々な対象や実践場面での活用を考察できない。
（4）高度看護実践者としての看護職のケアの本質を高めるための教育的関わりについて考察できる。	題発見能力	看護職のケアの本質を高めるための複数の複雑な課題を発見できる。	看護職のケアの本質を高めるための複数の課題を発見できる。	看護職のケアの本質を高めるための課題を発見できる。	看護職のケアの本質を高めるための課題の一部を発見できる。	看護職のケアの本質を高めるための課題を発見できない。
	考察力	高度看護実践者としての教育的関わりについて、論理的かつ具体的に考察できる。	高度看護実践者としての教育的関わりについて、論理的に考察できる。	高度看護実践者としての教育的関わりについて考察できる。	高度看護実践者としての教育的関わりについて、あいまいさはあるが考察できる。	高度看護実践者としての教育的関わりについて考察できない。

常磐大学大学院 看護学研究科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「エビデンスに基づく実践のための研究」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）実践現場における研究活動の目的と意義、ならびにエビデンスに基づく看護実践（以下、EBPという）に研究を使用するための指針と方法を説明できる。	理解力	実践現場における研究活動の目的と意義、ならびEBPに研究を使用するための指針と方法について具体的に例示しながら説明できる。	実践現場における研究活動の目的と意義、ならびEBPに研究を使用するための指針について説明ができる。	実践現場における研究活動の目的と意義、ならびEBPに研究を使用するための指針と方法について理解し、部分的な説明ができる。	実践現場における研究活動の目的と意義、ならびEBPに研究を使用するための指針と方法の概要を理解している。	実践現場における研究活動の目的と意義、ならびEBPに研究を使用するための指針と方法について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
（2）看護研究の歴史と将来を概観し、量的研究と質的研究、混合研究法の哲学的基盤を含め、それぞれの違いを説明できる。	理解力	看護研究の歴史と将来、ならびに量的研究と質的研究、混合研究法の哲学的基盤を含め、それぞれの違いについて、具体的に例示しながら説明ができる。	看護研究の歴史と将来、ならびに、量的研究と質的研究、混合研究法の哲学的基盤を含め、それぞれの違いについて説明ができる。	看護研究の歴史と将来、ならびに量的研究と質的研究、混合研究法の哲学的基盤を含め、それぞれの違いについて理解し、部分的な説明ができる。	看護研究の歴史と将来、ならびに量的研究と質的研究、混合研究法の哲学的基盤を含め、それぞれの違いについて、概要を理解している。	看護研究の歴史と将来、ならびに量的研究と質的研究、混合研究法の哲学的基盤を含め、それぞれの違いについて理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
（3）主要な研究用語を理解でき、量的研究と質的研究の研究プロセスを概説できる。	理解力	主要な研究用語、ならびに量的研究と質的研究の研究プロセスについて、具体的に例示しながら説明ができる。	主要な研究用語、ならびに量的研究と質的研究の研究プロセスについて説明ができる。	主要な研究用語、ならびに量的研究と質的研究の研究プロセスについて理解し、部分的な説明ができる。	主要な研究用語、ならびに量的研究と質的研究の研究プロセスの概要を理解している。	主要な研究用語、ならびに量的研究と質的研究の研究プロセスについて理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
（4）研究計画作成において研究問題、研究設問、仮説の重要性を説明できる。	理解力	研究計画作成において研究問題、研究設問、仮説の重要性について、具体的に例示しながら説明ができる。	研究計画作成において研究問題、研究設問、仮説の重要性に関する説明ができる。	研究計画作成において研究問題、研究設問、仮説の重要性について理解し部分的な説明ができる。	研究計画作成において研究問題、研究設問、仮説の重要性について、概要を理解している。	研究計画作成において研究問題、研究設問、仮説の重要性について理解しが不足している。
	課題（研究計画書作成の注意点等をまとめたガイド作成）に対する実践能力	課題について十分な内容のものを作成できる。	課題を作成することができる。	課題を部分的に作成することができる。	課題の作成プロセスを説明でき、作成に向けて取り組むことができる。	課題を作成することができない。

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している (S)	授業内容の習熟を達成している (A)	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している (B)	到達目標を達成している (C)	到達目標を達成できていない (D)
(5) 関連研究の検討から理論的・概念的枠組みを導き出す方法を理解できる。	理解力	関連研究の検討から理論的・概念的枠組みを導き出す方法を具体的に例示しながら説明できる。	関連研究の検討から理論的・概念的枠組みを導き出す方法を説明できる。	関連研究の検討から理論的・概念的枠組みを導き出す方法を理解している。	関連研究の検討から理論的・概念的枠組みを導き出す方法の概要を理解している。	関連研究の検討から理論的・概念的枠組みを導き出す方法の概要について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(6) 研究計画において重要な研究倫理と留意点について説明できる。	理解力	研究計画において重要な研究倫理と留意点について、具体的に例示しながら説明できる。	研究計画において重要な研究倫理と留意点について説明できる。	研究計画において重要な研究倫理と留意点について部分的な説明できる。	研究計画において重要な研究倫理と留意点の概要を理解している。	研究計画において重要な研究倫理と留意点の概要について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(7) 量的研究デザインの基本原則と厳密さを高めるための研究管理メカニズムを理解できる	理解力	量的研究デザインの基本原則と厳密さを高めるための研究管理メカニズムについて、具体的に例示しながら説明ができる。	量的研究デザインの基本原則と厳密さを高めるための研究管理メカニズムについて説明ができる。	量的研究デザインの基本原則と厳密さを高めるための研究管理メカニズムを理解し、部分的な説明ができる。	量的研究デザインの基本原則と厳密さを高めるための研究管理メカニズムについて、概要を理解している。	量的研究デザインの基本原則と厳密さを高めるための研究管理メカニズムの理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(8) 様々な目的をもった調査法、及び質改善と改善科学に用いられる方法を説明できる。	理解力	様々な目的をもった調査法、及び質改善と改善科学に用いられる方法について具体的に例示しながら説明ができる。	様々な目的をもった調査法、及び質改善と改善科学に用いられる方法について説明ができる。	様々な目的をもった調査法、及び質改善と改善科学に用いられる方法について理解し、部分的な説明ができる。	様々な目的をもった調査法、及び質改善と改善科学に用いられる方法について概要を理解している。	様々な目的をもった調査法、及び質改善と改善科学に用いられる方法について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(9) 量的研究におけるサンプリングの原則と方法について説明できる。	理解力	量的研究におけるサンプリングの原則と方法について、具体的に例示しながら説明ができる。	量的研究におけるサンプリングの原則と方法について説明ができる。	量的研究におけるサンプリングの原則と方法について理解し、部分的な説明ができる。	量的研究におけるサンプリングの原則と方法について概要を理解している。	量的研究におけるサンプリングの原則と方法について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している (S)	授業内容の習熟を達成している (A)	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している (B)	到達目標を達成している (C)	到達目標を達成できていない (D)
(10) 構造化データの収集方法と測定概念及び測定ツールの質評価について理解できる。	理解力	構造化データの収集方法と測定概念及び測定ツールの質評価について、具体的に例示しながら説明ができる。	構造化データの収集方法と測定概念及び測定ツールの質評価について説明ができる。	構造化データの収集方法と測定概念及び測定ツールの質評価について理解し、部分的な説明ができる。	構造化データの収集方法と測定概念及び測定ツールの質評価について概要を理解している。	構造化データの収集方法と測定概念及び測定ツールの質評価について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(11) 自己報告ツールの開発方法と単・二変量・多変量の統計解析の原則を理解できる。	理解力	自己報告ツールの開発方法と単・二変量・多変量の統計解析の原則について具体的に例示しながら説明ができる。	自己報告ツールの開発方法と単・二変量・多変量の統計解析の原則について説明ができる。	自己報告ツールの開発方法と単・二変量・多変量の統計解析の原則を理解し、部分的な説明ができる。	自己報告ツールの開発方法と単・二変量・多変量の統計解析の原則について、概要を理解している。	自己報告ツールの開発方法と単・二変量・多変量の統計解析の原則の理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(12) 欠損データの処理、結果の解釈と臨床的重要性に関する推論の問題を理解できる。	理解力	欠損データの処理、結果の解釈と臨床的重要性に関する推論の問題について、具体的に例示しながら説明ができる。	欠損データの処理、結果の解釈と臨床的重要性に関する推論の問題について説明ができる。	欠損データの処理、結果の解釈と臨床的重要性に関する推論の問題について理解し、部分的な説明ができる。	欠損データの処理、結果の解釈と臨床的重要性に関する推論の問題について、概要を理解している。	欠損データの処理、結果の解釈と臨床的重要性に関する推論の問題について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(13) 質的研究の種類、サンプリング法、非構造化自己報告と観察データの収集方法について説明できる。	理解力	質的研究の種類、サンプリング法、非構造化自己報告と観察データの収集方法について、具体的に例示しながら説明ができる。	質的研究の種類、サンプリング法、非構造化自己報告と観察データの収集方法について説明ができる。	質的研究の種類、サンプリング法、非構造化自己報告と観察データの収集方法について理解し、部分的な説明ができる。	質的研究の種類、サンプリング法、非構造化自己報告と観察データの収集方法について理解している。	質的研究の種類、サンプリング法、非構造化自己報告と観察データの収集方法について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(14) 質的データの分析方法と整合性（完全性）と信頼性を強化する方法について理解できる。	理解力	質的データの分析方法と整合性（完全性）と信頼性を強化する方法について、具体的に例示しながら説明ができる。	質的データの分析方法と整合性（完全性）と信頼性を強化する方法について説明ができる。	質的データの分析方法と整合性（完全性）と信頼性を強化する方法について理解し、部分的な説明ができる。	質的データの分析方法と整合性（完全性）と信頼性を強化する方法について、概要を理解している。	質的データの分析方法と整合性（完全性）と信頼性を強化する方法について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(15) 混合研究法の計画に必要な研究問題、研究設問、対象のサンプリングについて説明できる。	理解力	混合研究法の計画に必要な研究問題、研究設問、対象のサンプリングについて、具体的に例示しながら説明ができる。	混合研究法の計画に必要な研究問題、研究設問、対象のサンプリングについて説明できる。	混合研究法の計画に必要な研究問題、研究設問、対象のサンプリングについて理解し、部分的な説明ができる。	混合研究法の計画に必要な研究問題、研究設問、対象のサンプリングについて、概要を理解している。	混合研究法の計画に必要な研究問題、研究設問、対象のサンプリングについて理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している (S)	授業内容の習熟を達成している (A)	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している (B)	到達目標を達成している (C)	到達目標を達成できていない (D)
(16) 混合研究法におけるデータ分析と統合方法及び複雑な看護介入開発方法について理解できる。	理解力	混合研究法におけるデータ分析と統合方法及び複雑な看護介入開発方法について、具体的に例示しながら	混合研究法におけるデータ分析と統合方法及び複雑な看護介入開発方法について説明ができる。	混合研究法におけるデータ分析と統合方法及び複雑な看護介入開発方法について理解し、部分的な説明ができる。	混合研究法におけるデータ分析と統合方法及び複雑な看護介入開発方法について、概要を理解している。	混合研究法におけるデータ分析と統合方法及び複雑な看護介入開発方法について理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(17) パイロットスタディの計画と実施の意義を理解できる。	理解力	パイロットスタディの計画と実施の意義を理解について、具体的に例示しながら説明ができる。	パイロットスタディの計画と実施の意義について説明ができる。	パイロットスタディの計画と実施の意義について理解し、部分的な説明ができる。	パイロットスタディの計画と実施の意義について、概要を理解している。	パイロットスタディの計画と実施の意義について、理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(18) EBPをサポートする系統的文献レビューの方法について理解できる。	理解力	EBPをサポートする系統的文献レビューの方法について、具体的に例示しながら説明ができる。	EBPをサポートする系統的文献レビューの方法について説明ができる。	到達目標は理解しているが、授業内容の理解に不足がある。	EBPをサポートする系統的文献レビューの方法について、概要を理解している。	EBPをサポートする系統的文献レビューの方法について、理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(19) 個人・下位グループ向けの臨床的決定に対する実践に基づいたエビデンスの適用性を高める戦略について説明できる。	理解力	個人・下位グループ向けの臨床的決定に対する実践に基づいたエビデンスの適用性を高める戦略について、具体的に例示しながら説明ができる。	個人・下位グループ向けの臨床的決定に対する実践に基づいたエビデンスの適用性を高める戦略について説明ができる。	個人・下位グループ向けの臨床的決定に対する実践に基づいたエビデンスの適用性を高める戦略について理解し、部分的な説明ができる。	個人・下位グループ向けの臨床的決定に対する実践に基づいたエビデンスの適用性を高める戦略について、概要を理解している。	個人・下位グループ向けの臨床的決定に対する実践に基づいたエビデンスの適用性を高める戦略について、理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。
(20) エビデンスの普及方法—報告、論文の作成方法と公開方法を理解できる。	理解力	エビデンスの普及方法—報告、論文の作成方法と公開方法について、具体的に例示しながら説明ができる。	エビデンスの普及方法—報告、論文の作成方法と公開方法について説明ができる。	エビデンスの普及方法—報告、論文の作成方法と公開方法について理解し、部分的な説明ができる。	エビデンスの普及方法—報告、論文の作成方法と公開方法について、概要を理解している。	エビデンスの普及方法—報告、論文の作成方法と公開方法について、理解が不足している。
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献している。	授業全体の流れを理解し、発問に対し、積極的に応じる。	発問に対し、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業内の活動へ進んで参加しない、または指示に従わない。

常磐大学大学院 看護学研究科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「高度実践実習（教育）」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）実習施設がおかれている社会環境と教育機能を鑑み、施設の特徴や役割を述べることができる。	分析力	実習施設がおかれている社会環境と教育機能を鑑み、施設の特徴や役割について多角的に捉えることができ、これまで学修した知識を統合させながら、具体的に述べることができる。	実習施設がおかれている社会環境と教育機能を鑑み、施設の特徴や役割について、これまで学修した知識を統合させながら具体的に述べることができる。	実習施設がおかれている社会環境と教育機能を鑑み、施設の特徴や役割について、具体的に述べることができる。	実習施設がおかれている社会環境と教育機能を鑑み、施設の特徴や役割について、具体的に述べることができる。	実習施設がおかれている社会環境と教育機能を鑑み、施設の特徴や役割について述べるできない。
	立案力	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズについて多角的に捉えることができ、これまで学修した知識を統合させながら、教育プログラムを具体的に設計できる。	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズを検討し、これまで学修した知識を統合させながら、教育プログラムを具体的に設計できる。	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズを検討した教育プログラムを具体的に設計できる。	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズを検討した教育プログラムについて、具体的にはないが設計できる。	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズを検討した教育プログラムを設計できない。
（2）実習施設の教育を受ける対象者の教育ニーズの査定方法や活用方法を述べることができる	分析力	実習施設の教育を受ける対象者の教育ニーズの査定方法や活用方法について、これまで学修した知識を統合させ、いくつもの根拠を示しながら具体的に述べることができる。	実習施設の教育を受ける対象者の教育ニーズの査定方法や活用方法について、これまで学修した知識を統合させ、何かしらの根拠を示しながら具体的に述べることができる。	実習施設の教育を受ける対象者の教育ニーズの査定方法や活用方法について、具体的に述べることができる。	これまで学修した知識の統合は不明確であるが、実習施設の教育を受ける対象者の教育ニーズの査定方法や活用方法について、具体的にはないが、述べることができる。	これまで学修した知識の統合は不明確であるが、実習施設の教育を受ける対象者の教育ニーズの査定方法や活用方法について述べるできない。
	課題発見力	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズについて、主体的に検討することができる。	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズを検討するのに、少しの助言が必要である。	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズを検討するのに、助言が必要である。	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズを検討するのに、多くの助言が必要である。	組織が必要としている看護教育の目標と対象者の教育ニーズについて多くの助言があっても検討できない。

<p>(4) 学習効果を上げるための教育理論や教育技法を用いること、また教育指導の評価を検討することができる。</p>	理解力	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、これまで学修した知識を統合させながら、いくつかの根拠に基づき、具体的に検討することができる。	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、これまで学修した知識を統合させながら、何かしらの根拠に基づき、具体的に検討することができる。	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、具体的に検討することができる。	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、具体性はないが検討することができる。	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、検討できない。
	積極性	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、自ら積極的な姿勢で取り組むことができる。	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、積極的な姿勢で取り組むために、少しの助言が必要である。	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、積極的な姿勢で取り組むために、助言が必要である。	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、積極的な姿勢で取り組むために、多くの助言が必要である。	学習効果を上げるための教育理論や教育技法、また教育指導の評価について、多くの助言があっても、積極的な姿勢で取り組むことができない。
<p>(5) 実習での経験をとおして、教育指導者としての言動を内省しながら、改善していくことができる。</p>	内省力	実習での経験をとおして、教育指導者としての言動について、自ら内省し、改善していくことができる。	実習での経験をとおして、教育指導者としての言動について内省し、改善していくのに、少しの助言が必要である。	実習での経験をとおして、教育指導者としての言動について内省し、改善していくのに、助言が必要である。	実習での経験をとおして、教育指導者としての言動について内省し、改善していくのに、多くの助言が必要である。	実習での経験をとおして、教育指導者としての言動について、多くの助言があっても、内省し、改善していくことができない。

常磐大学大学院 看護学研究科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「高度実践実習（リーダーシップ）」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）実習施設を取り巻く社会や地域の状況を検討し、組織や看護職に期待される役割や必要なヘルスケアについて述べるができる。	分析力	実習施設を取り巻く社会や地域の状況を多方面から検討し、組織や看護職に期待される役割や必要なヘルスケアについて、これまで学修した知識を統合させ、いくつかの根拠を示しながら自らの考えを具体的に述べるができる。	実習施設を取り巻く社会や地域の状況を多方面から検討し、組織や看護職に期待される役割や必要なヘルスケアについて、何かしらの根拠を示しながら自らの考えを具体的に述べるができる。	実習施設を取り巻く社会や地域の状況を検討し、組織や看護職に期待される役割や必要なヘルスケアについて、具体的に自らの考えを述べるができる。	実習施設を取り巻く社会や地域の状況を検討し、組織や看護職に期待される役割や必要なヘルスケアについて、具体性はないが自らの考えを述べるができる。	実習施設を取り巻く社会や地域の状況を検討し、組織や看護職に期待される役割や必要なヘルスケアについて、自らの考えを述べるができない。
	課題発見力	明確で解決可能な実習テーマを、自らの関心や学修との関係のみならず社会的・組織的ニーズから捉え、主体的に設定できる。	明確で解決可能な実習テーマを、自らの関心や学修との関係のみならず社会的・組織的ニーズから捉え設定するために少しの助言が必要である。	明確で解決可能な実習テーマを、自らの関心や学修との関係のみならず社会的・組織的ニーズから捉え設定するために助言が必要である。	明確で解決可能な実習テーマを、自らの関心や学修との関係のみならず社会的・組織的ニーズから捉え設定するために多くの助言が必要である。	実習テーマを、自らの関心や学修との関係のみならず社会的・組織的ニーズから捉え設定することが、多くの助言があってもできない。
（2）学生の地域や組織での役割や職位により、所属する部署または類似する部署や委員会活動などのリーダーとして戦略やプロジェクト活動を検討することができる。	分析力	学生の地域や組織での役割や職位により、所属する部署または類似する部署や委員会活動などのリーダーとして戦略やプロジェクト活動について、これまで学修した知識を統合させ、いくつかの根拠に基づいて、具体的に検討できる。	学生の地域や組織での役割や職位により、所属する部署または類似する部署や委員会活動などのリーダーとして戦略やプロジェクト活動について、何かしらの根拠に基づいて、具体的に検討できる。	学生の地域や組織での役割や職位により、所属する部署または類似する部署や委員会活動などのリーダーとして戦略やプロジェクト活動について、具体的に検討できる。	学生の地域や組織での役割や職位により、所属する部署または類似する部署や委員会活動などのリーダーとして戦略やプロジェクト活動について、具体性はないが検討できる。	学生の地域や組織での役割や職位により、所属する部署または類似する部署や委員会活動などのリーダーとして戦略やプロジェクト活動について検討できない。

(3) 検討内容は質の高いヘルスケアをめざした実践方法やヘルスケアの標準化に関するもの、質向上を確認する指標の検討などで、実行するために必要な情報や物品、チームメンバー、多職種、費用などの資源について提案することができる。	提案する力	検討内容を実行するために、必要な情報や物品、チームメンバー、多職種、費用などの資源について、これまで学修した知識を統合させ、いくつもの根拠を示しながら、相手が納得できるように、具体性のある提案ができる。	検討内容を実行するために、必要な情報や物品、チームメンバー、多職種、費用などの資源について、何かしらの根拠を示しながら、具体性のある提案ができる。	検討内容を実行するために、必要な情報や物品、チームメンバー、多職種、費用などの資源について、具体性のある提案ができる。	検討内容を実行するために、必要な情報や物品、チームメンバー、多職種、費用などの資源について、具体性はないが提案できる。	検討内容を実行するために、必要な情報や物品、チームメンバー、多職種、費用などの資源について提案できない。
(4) 実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について考察する。	考察力	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動についてこれまで学修した知識を統合させ、いくつもの根拠に基づいて、具体的に考察できる。	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について何かしらの根拠に基づいて、具体的に考察できる。	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について具体的に考察できる。	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について具体性はないが考察できる。	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について考察できない。
	積極性	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について、自ら積極的な姿勢で取り組むことができる。	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について積極的な姿勢で取り組むために、少しの助言が必要である。	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について積極的な姿勢で取り組むために、助言が必要である。	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について積極的な姿勢で取り組むために、多くの助言が必要である。	実践現場で計画を進めるリーダーとしての理論を基盤とした行動について多くの助言があっても積極的な姿勢で取り組むことができない。
(5) 実践を評価するためのデータや分析方法について、費用効果も含めた計画または提案を検討する。	立案力	実践を評価するためのデータや分析方法について、費用効果も含めた計画または提案について、これまで学修した知識を統合させ、いくつかの根拠に基づいて、具体的に検討できる。	実践を評価するためのデータや分析方法について、費用効果も含めた計画または提案について、何かしらの根拠に基づいて、具体的に検討できる。	実践を評価するためのデータや分析方法について、費用効果も含めた計画または提案について、具体的に検討できる。	実践を評価するためのデータや分析方法について、費用効果も含めた計画または提案について、具体性はないが検討できる。	実践を評価するためのデータや分析方法について、費用効果も含めた計画について、提案できない。
(6) 実習での計画立案や提案を通して、自身のリーダーとしての行動や態度、チームメンバーとの協働などを内省し役割を考察する。	内省力	実習での計画立案や提案を通して、自身のリーダーとしての行動や態度、チームメンバーとの協働について客観的に捉え、内省し、自らの役割について主体的に考察できる。	実習での計画立案や提案を通して、自身のリーダーとしての行動や態度、チームメンバーとの協働について客観的に捉え、内省し、自らの役割について考察するのに少しの助言が必要である。	実習での計画立案や提案を通して、自身のリーダーとしての行動や態度、チームメンバーとの協働について客観的に捉え、内省し、自らの役割について考察するのに助言が必要である。	実習での計画立案や提案を通して、自身のリーダーとしての行動や態度、チームメンバーとの協働について客観的に捉え、内省し、自らの役割について考察するのに多くの助言が必要である。	実習での計画立案や提案を通して、自身のリーダーとしての行動や態度、チームメンバーとの協働について内省することや、自らの役割について多くの助言があっても考察できない。